



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

令和2年11月20日 No.11

勉強していれば褒められる？

中学生の頃、自分の父親から言われて今でも覚えている言葉があります。「中学生は、勉強していれば褒められるんだから、人生で一番いい時期だね。」

毎日、ほぼ出される宿題、成績に入る小テスト、終わったと思ったらすぐにやってくる年間5回の定期テストなどなど・・・中学生ほど忙しい時期はないと思っていた当時の私にとっては、とても意外な言葉でした。仕事から帰って夕食の後、テレビを見ていたり、就寝前には好きな読書をしていたりしていた父親の姿に接していた私は、「大人の方が楽で、いい時期じゃないのかな」と思いました。

大人になって自分が父親の立場になってみると、当時の父親の言葉が「その通り」と思うのですが、中学生の時期には絶対に「その通り」とは感じることはありませんでした。毎日の勉強に追われ、「勉強をしないで済む、大人に早くなりたい」と思ったものです。

しかし、大人になっても「勉強はしなければならない」のです。仕事を順調に進めるため、仕事に必要な資格を得るためなど様々な理由がありますが、仕事を続けて収入を得るために「勉強を続けなければならない」のです。大人は、そういう勉強に充てる時間を仕事終了して夜遅く帰宅してから取り組む、昼食をとった後のわずかな昼休みの時間を使う、休日にまとめて時間をとるなど相当苦勞をして確保しているのです。大人は自らの努力で「勉強する時間」を作り出さなければなりません。中学生の時期は、学校や塾など昼間に「勉強する」ことを目的とする時間が十分に確保されているのです。「勉強する時間」を確保するという意味では、大人より中学生が圧倒的に恵まれているということです。父親のあの言葉は、「勉強する時間がたっぷりある」中学生をうらやましく思っただけの発言であつたのではないかと思います。

挨拶をする距離

挨拶については「人間関係を潤す潤滑油」、「人間として必要欠くべからざるマナー」などと様々な表現でその重要性が強調されています。私自身、生徒たちに挨拶をしましょうと機会ある度に話しています。ところで、廊下や教室に限らず、道ですれ違う時などにどのくらい近づいた時に挨拶をしますか。私は、相手に失礼があつてはいけないと思うたちなので、かなり離れていても自分から挨拶することを心がけています。そのため、少し離れていても相手が私の存在を認識したなと思った時点で自分から挨拶をします。少し離れすぎていて何も反応してくれないこともあるのですが、めげずに少し近づいてから改めて挨拶をします。そして、その人の挨拶の距離感をインプットします。よほど嫌われていない限り、挨拶を返してくれない人はいませんが、人によってこの挨拶の距離感はまちまちです。余計な話ですが、私は、挨拶をしても相手が返してくれない場合は、「何か別のことに集中していて聞こえなかったんだ。」と思うようにしています。互いに笑顔で挨拶できれば一番良いのですが、返してくれなかったことを深く考えすぎて気分が落ち込むのはもったいないので割り切るようにしています。自分から挨拶することは人のためではなく自分のためとの意識をもって、これからも続けていきたいと思っています。



避難訓練で求められること

10月20日（火）は火事、11月12日（木）は地震を想定した避難訓練を実施しました。避難訓練は原則として月1回計画的に実施することになっていますが、今年度は新型コロナ

コロナウイルスの影響で、実際に避難しての訓練は2学期になってからとなりました。10月

20日の訓練では校庭に避難したのは1年生だけで、2・3年生は教室での避難行動の確認をしました。できれば3学年ともに校庭への避難を実施したかったのですが、密になることを避けるため、1年生のみ校庭へ避難することとしました。1年生に避難経路の確認と実際の避難行動を経験させておく必要があったため、1年生を優先に避難訓練を計画したためです。

11月の訓練では全校生徒が校庭に避難しましたが、集合場所では間隔を十分にとるなどの感染防止の対策を行った上で実施しました。生徒たちは、真剣に、「おしゃべりをしない」で速やかに避難することを守っていました。避難訓練は、「自分自身と仲間の命を守るために何が必要なのかを考えて行動すること」、「黙って行動することが一番大切であること」そして、「訓練のための訓練ではないこと」について改めて意識するよう指導をしました。



新入生保護者説明会

11月5日（木）に来年度本校への入学を予定している児童の保護者の方々を対象とした新入生保護者説明会を開催しました。当日は約130名の保護者の方々にご出席いただき、本校の教育活動の概要等について説明をしました。例年ならば、授業参観とともに校内の施設・設備も見学した後に説明会を設定していたのですが、新型コロナウイルス感染防止のため、説明会のみになってしまいました。できうる限りの説明をさせていただいたつもりですが、ぜひ“府中第五中学校”を進学先として選んでいただき、多くの新入生を迎えることができることを願っています。



2学期期末考査の実施

11月16日（月）から18日（水）までの3日間で2学期の期末考査を実施しました。1年生にとっては、9教科のテストを受けるのは初めてのことでした。計画的に準備を進めることが大切であることを実感した生徒が多かったように思います。

3年生にとっては、進路決定に向けて重要な意味をもったテストでした。テストの点数だけで成績が付く訳ではありませんが、点数が取れた方が良いに決まっています。テスト前、放課後教室に残って、夕方遅くまで勉強している生徒が多くみられました。来月には三者面談が行われ、具体的な進路希望を確認することになります。希望を固めることでもう決まったと安心してしまわず、入試当日まで実力を高めるための努力を続けてくれることを願っています。

生徒会活動の充実について

先月の学校だよりで、生徒会本部役員の選挙のことについて触れましたが、2年生を中心とした委員会活動・生徒会活動が本格的になってきました。月ごとの生活目標もこれまでからさらに一歩進み、目指す行動を具体的に示すものとなりました。例えば、「11月・12月の月目標 心のこもったあいさつをしよう 心のこもったあいさつとは？ ～あいさつ4原則～ 1 大きな声 2 笑顔 3 アイコンタクト 4 語先後礼」というものです。生徒が自ら考え、自分たちの学校をより良くしようとする活動が活発になってきていることに頼もしさを感じます。

